

【SW-ing・1学年】

実施日：令和2年9月24日(木)第5限

単元(教材)名
問題解決に向けての思考の仕方

【この単元のねらい・目標】

1年生は2学期から「社会と情報」と「SW-ing（総合的な探究の時間）」で、自身の地域の問題解決学習に取り組む。その際、問題点が絞り込めておらず、論理性に乏しい思い付きの方策になっている場合が少なくない。そこで今回は、問題の焦点化も含めた論理立てられた問題解決のプロセスを学び、今後の探究活動のベースとなるコンピテンシーを育成する。

【本時のねらい・目標】

- ・問題点を絞り込むことで、一連の問題解決のプロセスが構築できることを、例題を通して協働的に学ぶ。
- ・問題などを絞り込むとき5W1Hを意識させ、方策はできる限り視野を広く持たせる。

【この授業で特に意識する「科学的思考力(SW-ing SLC)」】

項目	内容
B 課題理解・発見力	ii : 解決すべき新しい課題を自ら設定できる
G 自己調整力	i : 見通しを立てて物事を計画したり、成果やプロセスを振り返って適切に修正・改善できる

【ICT機器の使用場面とその目的】(①目的②場面③方法)

電子黒板の活用

- ① 授業の効率化 ② 随時利用 ③ 授業スライドを投影

【全体の指導計画(全3時間)】

- 1 問題解決に向けての思考の仕方を学ぶ(本時)
- 2 データをクリティカルシンキングで吟味する
- 3 データを活用した問題解決に取り組む

【本時の授業展開】

時間	内容
5分	本日の授業の目的を説明する中で、例題の問題点や疑問点を付箋に書き出す。
20分	例題で考えたことを共有し、問題・目的を具体的に絞り込むことや、①目的・目標→②原因→③方策のストーリーを描き、その重要性を理解する。
15分	新しい課題で、問題解決の一連の流れに取り組む。
7分	まとめ
3分	振り返り

【工夫・意識すること等】

- 問題や目的が絞り込めていないと、適切な方策を提案できないことを実感させる。
- 問題解決はストーリーで考えることで、複数の方策が提案できることを実感させる。

【使用教材】独自教材

